

世界が 懸念 していること

2025年9月

世界が懸念していること

イプソスの「世界が懸念していること」調査では、世界30か国で現在最も重要な社会問題や政治問題は何であると考えているのかを調査し、最新のスコアとその背景を10年分のデータをもとに探ります。

このグローバルサマリーレポートでは、世界中で最も懸念されていることを、自国が正しい方向/間違った方向のどちらに進んでいるかという人々の意見と共にご紹介しています。

調査結果のさらなる分析は、
www.ipsos.com
でもご覧いただけます。

詳細については、
Joseph.Nadler@ipsos.com
までお問い合わせください。

=Report_1175

まとめ

01. フランスの悲観度、これまでで最も高い水準に

フランスが「正しい方向に向かっている」と答えた国民の割合は、わずか9%と10年ぶりの低水準に達しました。同様に、経済が「良好」だと考えている人の割合は10%で、両指標とも30か国中最下位となっています。

フランスは、2024年6月に国民議会が解散して以来、政治的に不安定な1年を過ごしました。フランスのPublic AffairsチームのアカウントディレクターであるMathieu Gallardが、[フランスにスポットライト](#)を当てたデータの背景を説明します。

02. 汚職への懸念が高まる

30か国全体で、汚職に対する懸念を表明する人の割合は1か月間でわずかに増加し、28%となっています。これは全体で4番目に大きな懸念事項です。

アジア太平洋地域では汚職への懸念が高まっており、マレーシアでは懸念度が8ポイント上昇して59%となり、タイでは7ポイント上昇して半分強(51%)となっています。一方、インドネシアの不安レベルは4ポイント上昇して72%となり、2022年8月に同国を追加して以来、最高となっています。

さらに、[ミレイ大統領の妹を巻き込んだ最近のスキャンダル](#)を受けて、アルゼンチンの汚職に対する懸念は11ポイント上昇して36%となり、2022年9月以来の最高値となっています。

03. 税金への懸念が世界中に広がる

30か国全体で、税金について懸念を表明する人の割合は依然として5分の1(19%)で、昨年の同時期よりわずかに増加しています。

フランスは経済に対する悲観的な見方に加えて、税金についても懸念しており、税金への懸念はわずかに上昇して28%となっています。

[最近の混乱](#)を受けて、インドネシアのスコアも12ポイント上昇し、過去最高の35%に達しました。

さらに、米国人の税金に対する不安のレベルは5ポイント上昇し、現在5人に1人(21%)が不安を感じていると答えており、これは8年間で最高となっています。

世界が懸念していること 2025年9月

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

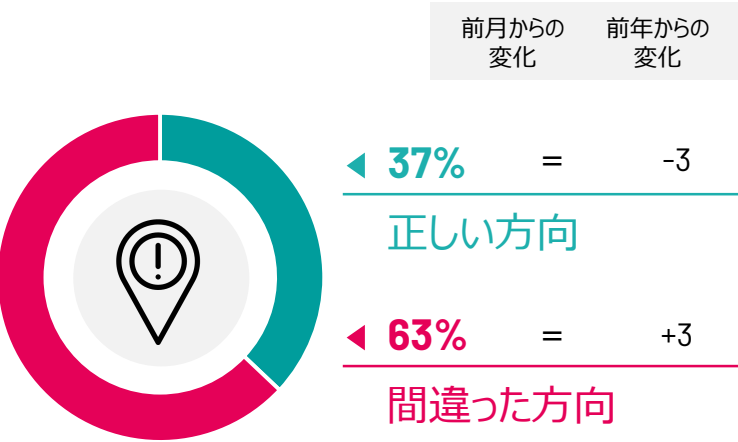
		前月からの 変化	前年からの 変化
犯罪と暴力	32%	=	+1
インフレ	30%	=	=
貧困と社会的不平等	29%	=	=
汚職、経済的・政治的スキャンダル	28%	+2	+4
失業率と雇用	28%	=	+1

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

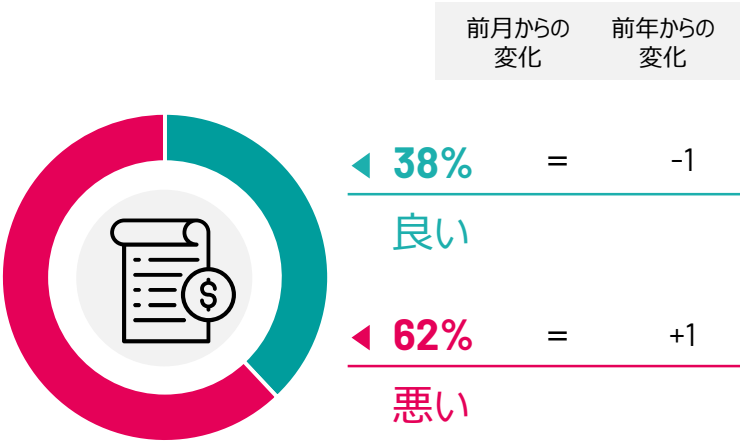
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



経済の状況

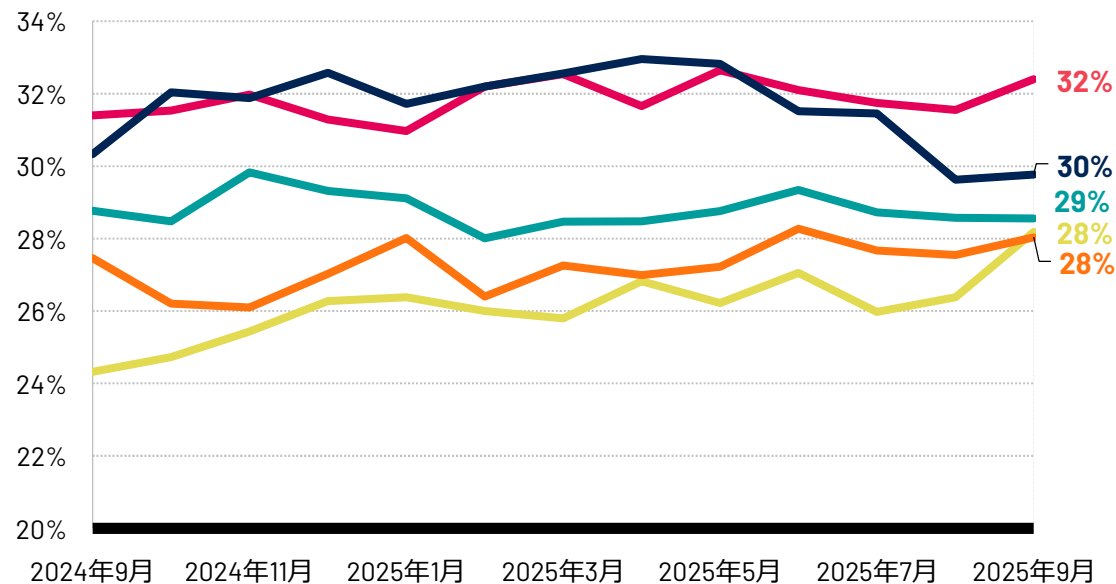
Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



世界が懸念していること 12か月間のトレンド

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



犯罪

インフレ

不平等

汚職

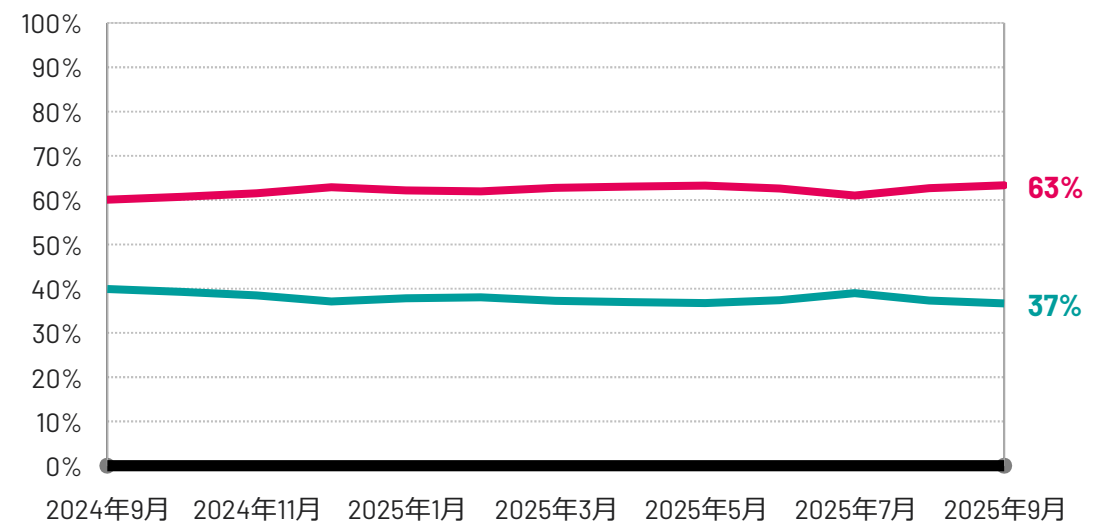
失業

対象: 2025年8月22日~2025年9月5日、参加30か国の16~74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていていると思いますか。

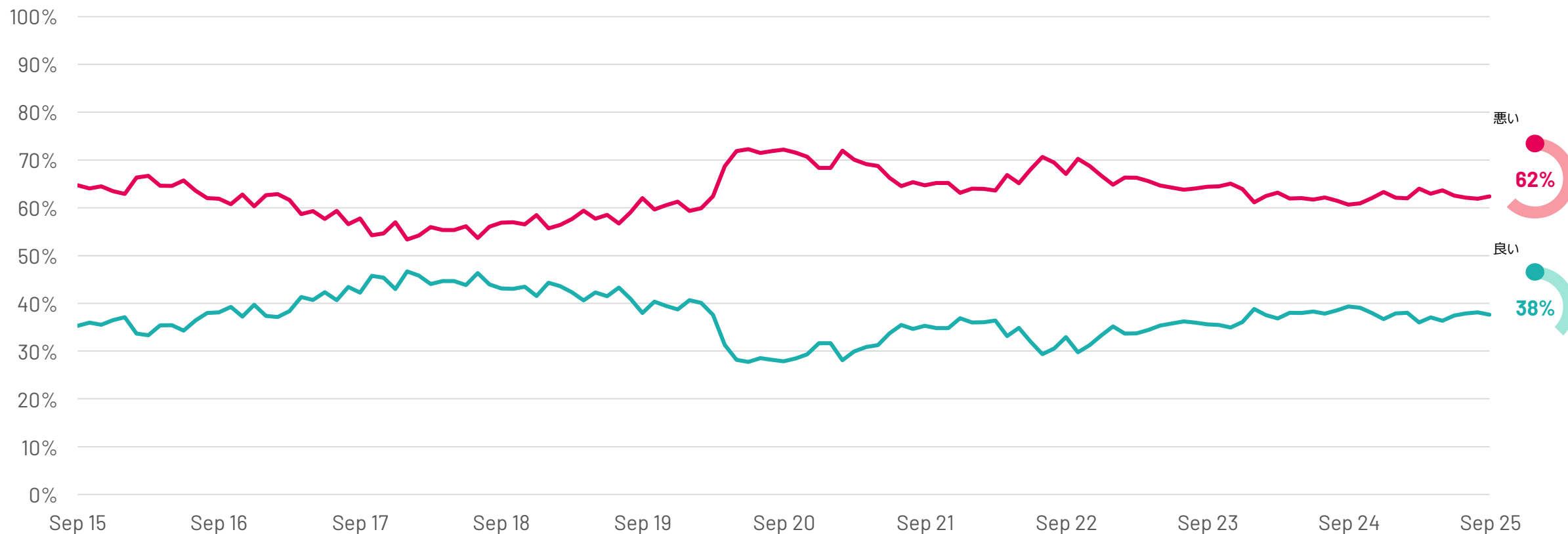


正しい方向

間違った方向

現在の経済状況: 世界平均

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。
(「とても良い」または「やや良い」と「とても悪い」または「やや悪い」の割合)



対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

各国が進む方向

全対象国

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で、自国が「正しい方向に向かっている」と答えた人の割合は37%のままです。これは昨年と同時期よりも3ポイント低い数字です。

フランスでは今月、楽観度が過去最低を記録しました。フランスが正しい方向に進んでいると考える国民の割合は減り続け、現在は9%となっています。これは、この指標で過去10年間に記録されたフランスの最低スコアです。

海峡を渡った英国でも悲観的な見方が高まっており、国民の「正しい方向」スコアは1か月で5ポイント低下し、10人中3人(30%)となっています。

す。これは昨年9月のスコアより10ポイント低い水準です。

一方、マレーシアでも楽観度が急落し、11ポイント低下しました。現在、5分の3(61%)が「国は正しい方向に向かっている」と回答しています。

37%

(30か国)が、自国が「正しい方向に向かっている」と考えています。

正しい方向/ 間違った方向 モニター

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か
国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

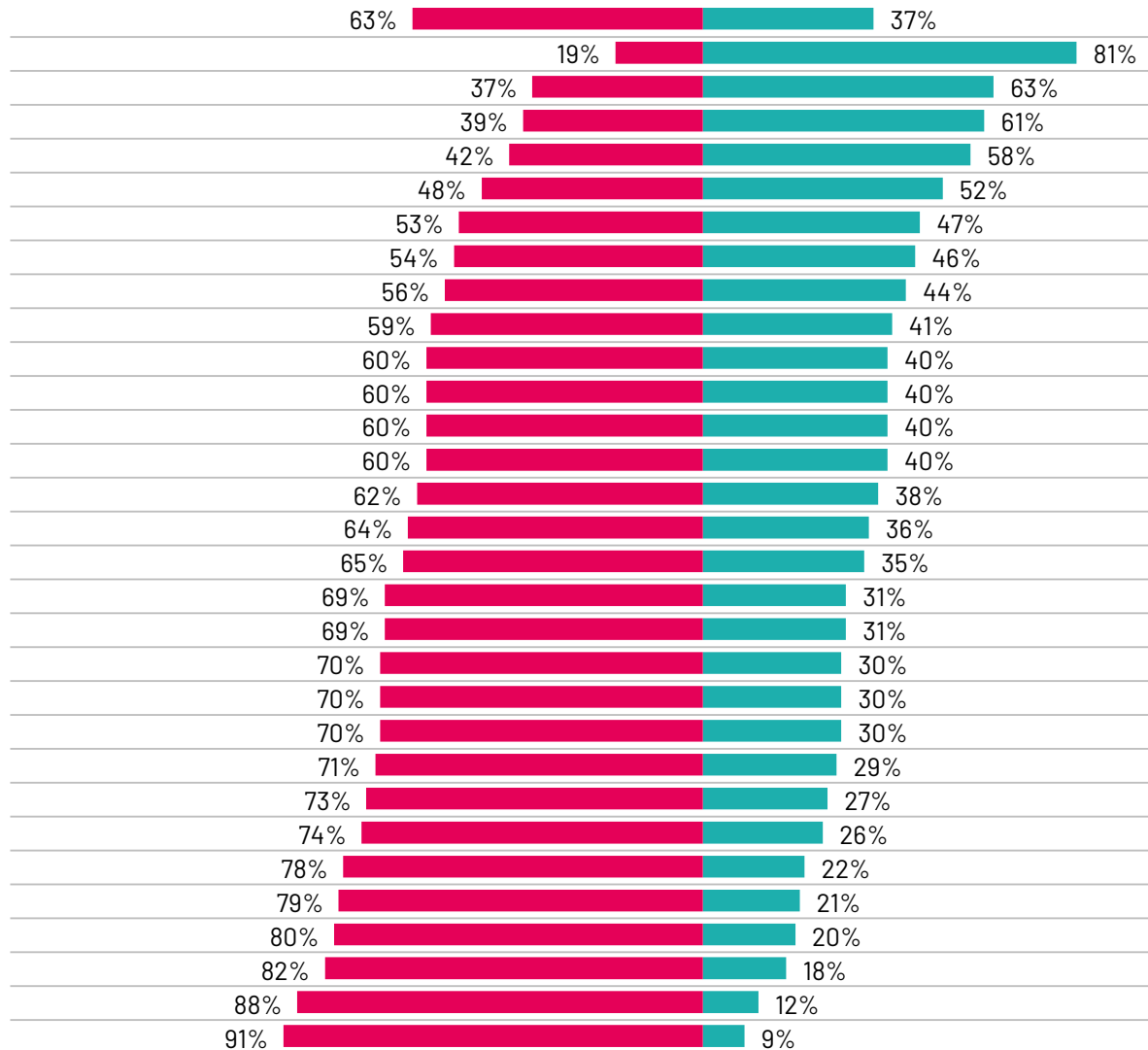
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルス
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

国

世界
シンガポール
インド
マレーシア
韓国
オーストラリア
アルゼンチン
タイ
カナダ
ブラジル
アイルランド
インドネシア
米国
メキシコ
ポーランド
コロンビア
チリ
スペイン
ベルギー
イスラエル
英国
イタリア
スウェーデン
ドイツ
トルコ
南アフリカ
日本
オランダ
ハンガリー
ペルー
フランス

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると
思いますか? (2025年9月)



正しい方向

間違った方向

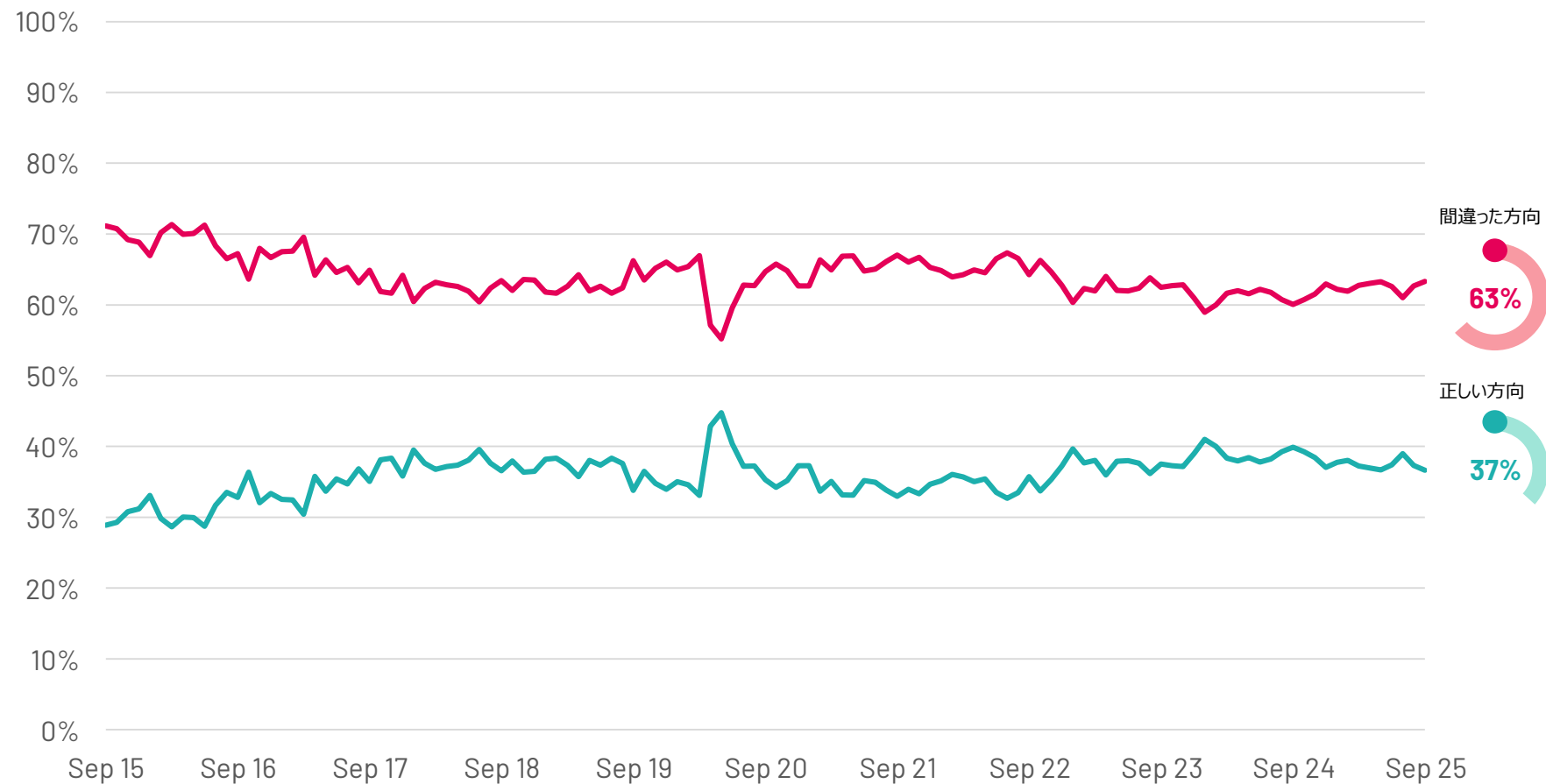
世界の正しい/ 間違った方向

世界各国の平均スコア

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?



国別スポットライト： フランス

フランスサマリー: 2025年9月

最も懸念していることトップ5

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

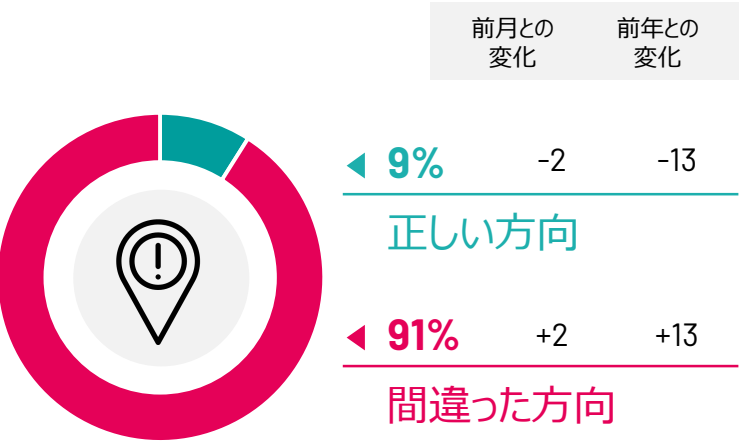
		前月との 変化	前年との 変化
犯罪と暴力	36%	-2	+1
インフレ	30%	-1	-3
課税	28%	+2	+12
貧困と社会的不平等	27%	+1	-1
移民管理	27%	+3	+6

対象: 16〜74歳のフランス成人の代表サンプル。毎月約1000名。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: フランス | 現在のウェブ: 2025年9月

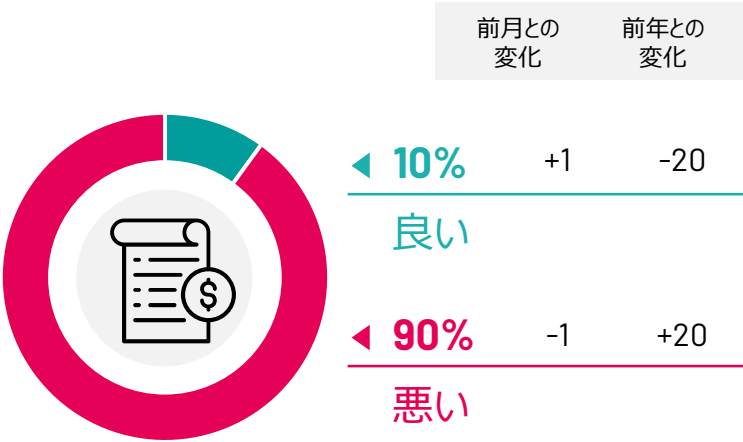
国の状況

Q: 全般的に見て、この国は正しい方向へ向かっていると思いますか、それとも間違った方向に向かっていると思いますか。



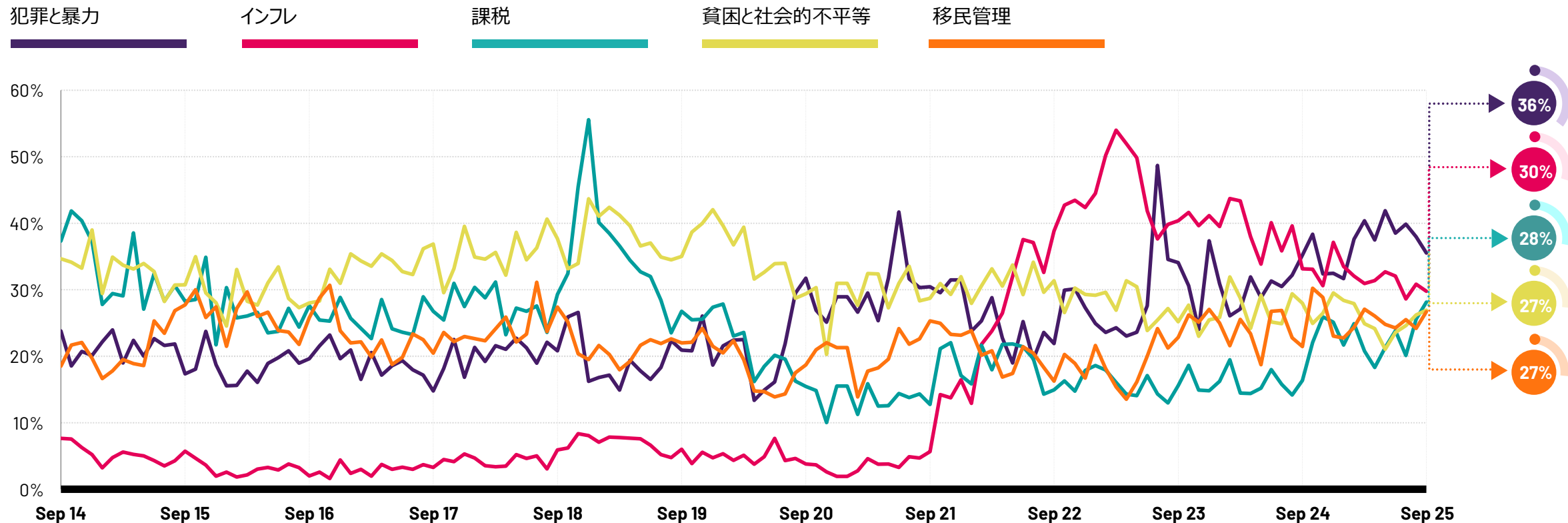
経済の状況

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



フランスの現在の5つの懸念事項：長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。



対象: 16〜74歳のフランス成人の代表サンプル。毎月約1000名。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: フランス | 現在のウェブ: 2025年9月

スポットライト: フランス

対象: 16〜74歳のフランス成人の代表サンプル。毎月約1000名。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

フランス人についてよく言われる風刺的なイメージとして、「コップは半分空だ」と考える国民だというものがあります。しかし、こうしたステレオタイプは本当なのでしょうか。私たちのデータによると、フランス人はまさにその定説どおりの傾向を示しているようです。

今月、自国が「正しい方向に向かっている」と考えるフランス人の割合は10年ぶりの低水準となる9%に達し、30か国中最下位となっています。

同様に先月は経済感情が新たな最低水準を記録し、今度は経済が「良い」と回答した人はわずか9%で、これは2016年2月(同じく9%)以来の最低値となっています。

フランスの広報担当アカウントディレクター、Mathieu Gallard氏は次のように説明しています。

「2024年夏の議会選挙と、それに続く3つの異なる政権が次々と誕生しては消える政治的混乱以来、フランスの悲観論は急激に高まっています。」

次のスライドへ

9%

のフランス人が、自国は「正しい方向に向かっている」と考えています。これは10年ぶりの低水準です。

スポットライト： フランス

「現在、フランス国民のうち、国が正しい方向に進んでいると信じているのはわずか9%で、国民議会が解散される直前の2024年6月の26%から減少しています。」イタリア(30%)やスペイン(31%)といった南ヨーロッパの隣国との対照は今や際立っています。

フランス人の懸念事項のトップは治安(36%)ですが、経済・社会問題もそれに劣らず高く、インフレ(30%)、税制(28%)、貧困と不平等(27%)、医療制度(26%)などが挙げられます。これらの分野への不安は広く蔓延しており、財政の不安定さが原因とみられています。多くの人が、増税が

社会保障制度の削減につながるのではないかと懸念しています。こうした状況下、フランスの経済が好調だと回答したのはわずか10%で、わずか1年で20ポイントも急落しました。フランスの経済基盤は近隣諸国と比べてそれほど悪くはないかもしれませんが、国民感情がこれほどまでに暗い状況になったことは稀です。

10%

が、国の経済は好調だと考えています。

対象: 16~74歳のフランス成人の代表サンプル。毎月約1000名。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

フランス 正しい方向

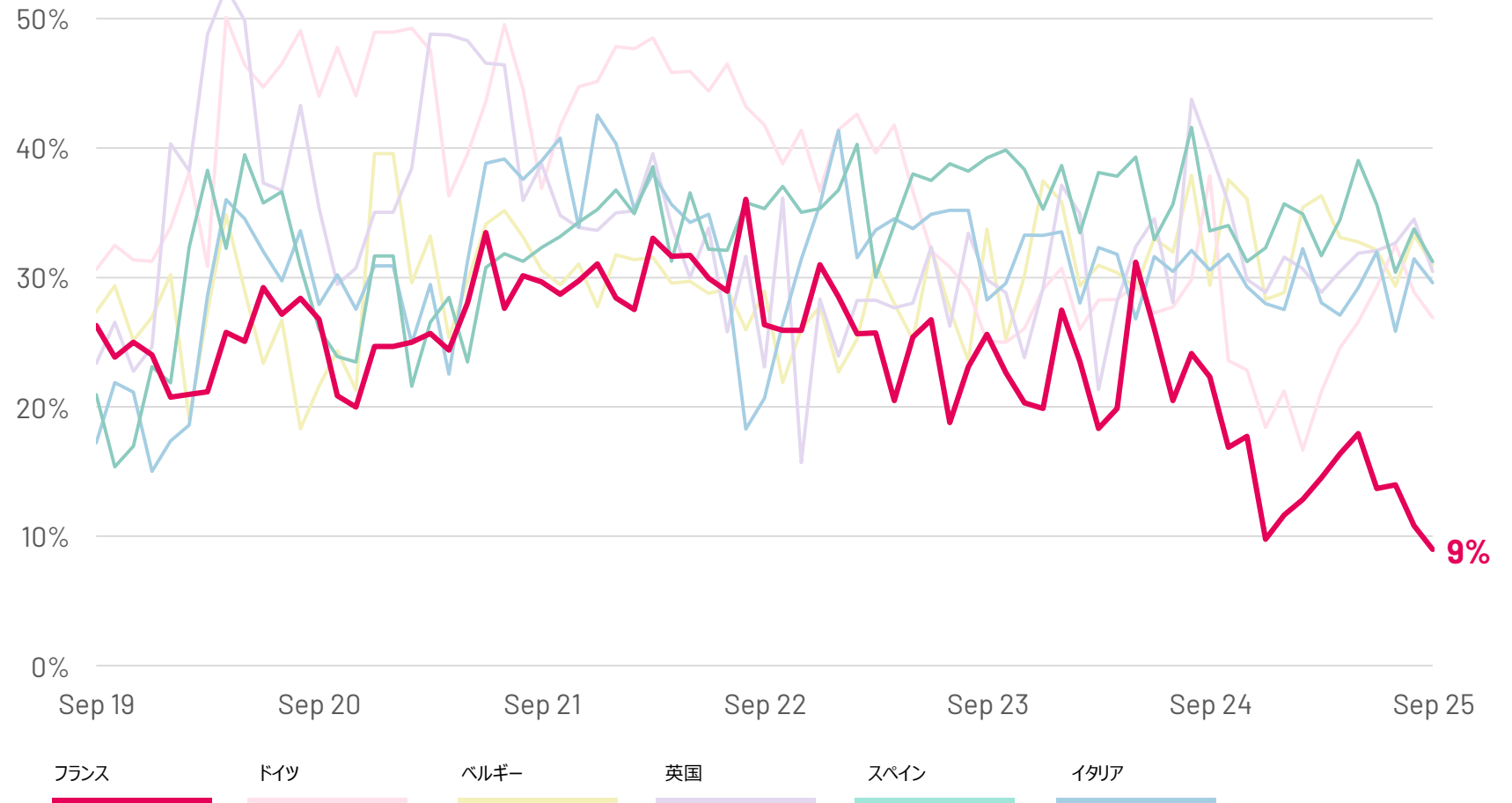
フランスはヨーロッパの近隣諸国
に比べてかなり悲観的です。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か
国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルス
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: フランス | 現在のウェーブ: 2025年9月

Q: この国は正しい方向に向かっていると思いますか、それとも間違った方向に進んでいると思いますか?
% 正しい方向

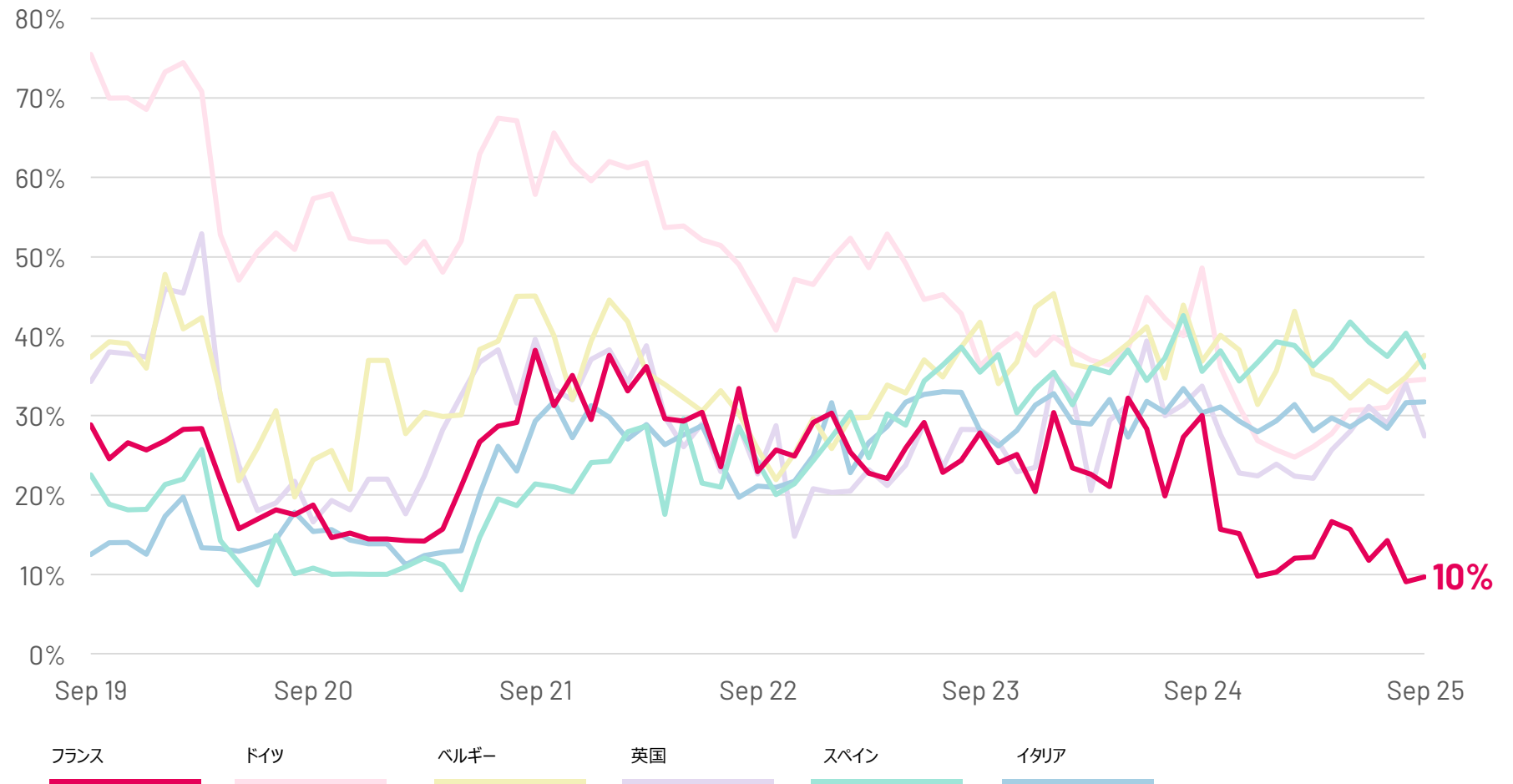


現在の経済状況

フランスはヨーロッパの近隣諸国に比べて低いスコアとなっています。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。%「とても良い」または「やや良い」



懸念スポットライト： 医療

スポットライト: 医療

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国

医療を懸念事項として選んだ人の割合

国	医療を懸念事項として選んだ人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	23%	-1	=
ハンガリー	63%	=	-5
ポーランド	41%	+1	+12
アイルランド	38%	=	-12
カナダ	38%	-3	-6
英国	34%	+1	-1
イタリア	34%	-1	-1
ブラジル	33%	-1	-3
オーストラリア	31%	-3	+2
シンガポール	30%	+1	+6
オランダ	28%	-5	+1
スペイン	27%	-2	-5
コロンビア	27%	-2	+7
フランス	26%	-1	+4
米国	25%	=	-1
スウェーデン	23%	-2	-2
ベルギー	21%	-2	-2
ドイツ	20%	=	+3
メキシコ	20%	=	+4
アルゼンチン	16%	-3	+4
チリ	16%	-2	+3
ペルー	15%	+1	-2
南アフリカ	14%	-3	-1
インド	13%	+1	=
マレーシア	10%	-2	+1
日本	10%	-1	=
イスラエル	9%	=	+6
タイ	8%	+1	+1
韓国	7%	-1	-20
トルコ	5%	=	+4
インドネシア	4%	-3	-3

スポットライト: 医療

30か国全体で、健康問題は18の懸念事項のうち6位にランクされており、平均で約4分の1(23%)がこれに言及しています。

ハンガリーは最近最も一貫して不安を抱えている国であり、現在大多数(63%)が医療が主要な問題であると述べています。ここ2年間、それが彼らの一番の関心事となっています。

最も心配している国トップ10のうち6か国はヨーロッパで、ポーランド(41%)、アイルランド(38%)、英国とイタリア(ともに34%)が上位にランクインしています。

全体的に、医療に対する不安のレ

ベルは、パンデミック後も多かれ少なかれこのレベル付近で推移しています。

しかし、イプソス医療サービスレポート(10月に発表)の最新データのおかげで、特定の健康問題に関する「コロナ禍の遺産」を見ることができます。2018年、最も多く認識された健康上の課題はがん(52%)でした。しかし、2020年にはメンタルヘルスへの懸念が高まり始めました。

次のスライドへ

63%

のハンガリー人が医療が自国にとって最大の課題だと考えています。これは2年連続で最大の懸念事項です。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

スポットライト： 医療

5年間で、メンタルヘルスに関する言及は2020年の26%から2025年には45%に増加しました。

また、自国の医療の質に関して、人々の期待が悲観的になっていることもわかります。2018年には、30か国のうち34%が品質が向上すると信じていました。2025年にはその数字は28%となり、さらに悪化すると考えている人は21%となっています。

自国が直面している最大の健康問題は何かとの質問に対し、調査対象国全体で47%が治療へのアクセスや長い待ち時間が最大の課題であると回答し、次いで人員不足(43%)、治療費(33%)が続きました。

これらすべてに加え、性別や世代別の内訳、メンタルヘルス分析、GLP-1に対する意識など、さらに多くの情報が、近日発行の「イプソス医療サービスレポート2025」(10月7日に発売)に掲載されます。

45%

(30か国)が、メンタルヘルスは自国が直面する主要な健康課題の一つであると回答しています。

出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

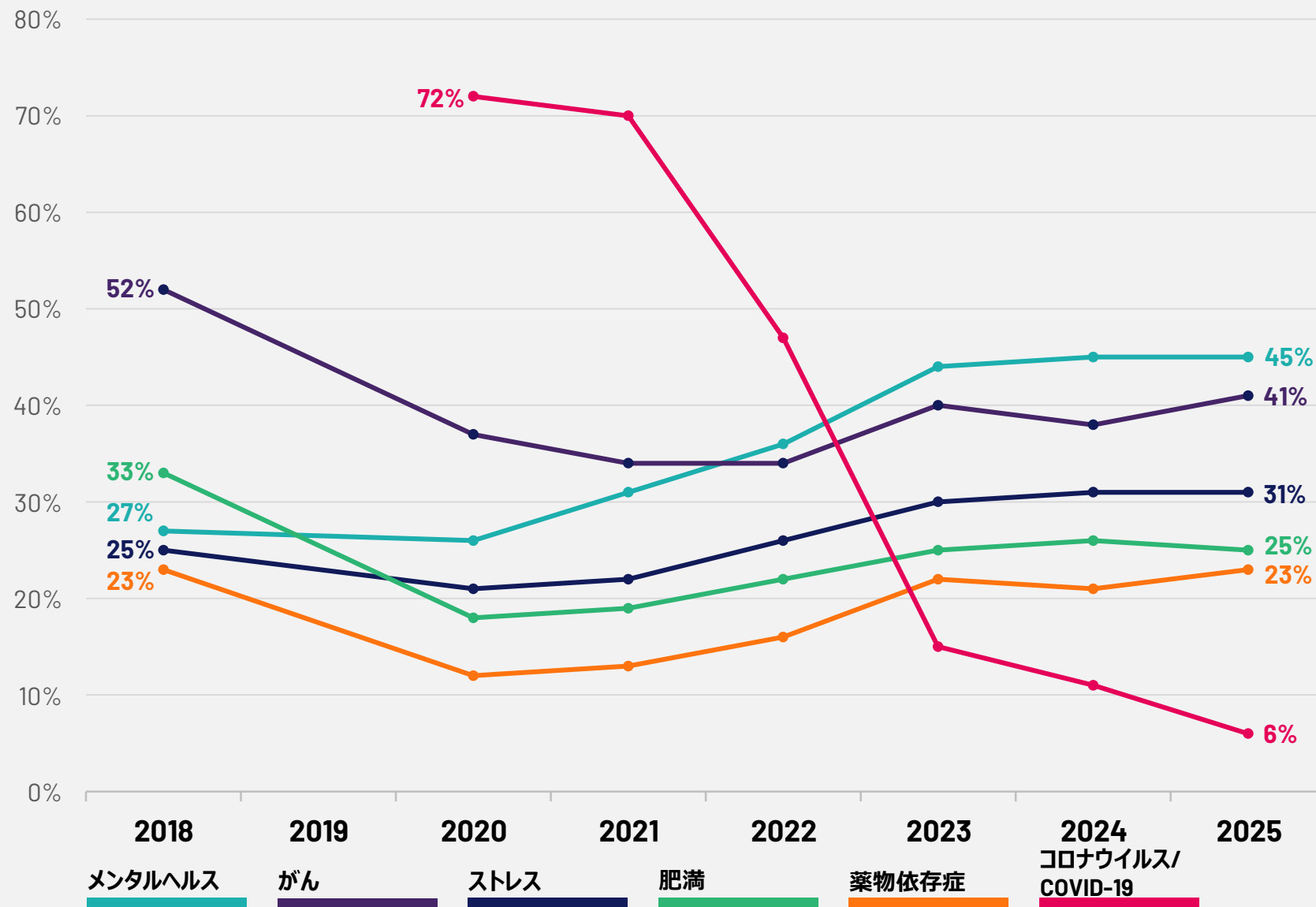
フィルター：国：世界 | 現在のウェブ：2025年9月

自国の人たちが現在直面している最大の健康問題は次のうちどれだと思いますか？

世界各国平均、2018～2025年

上位5つの課題(+ COVID)

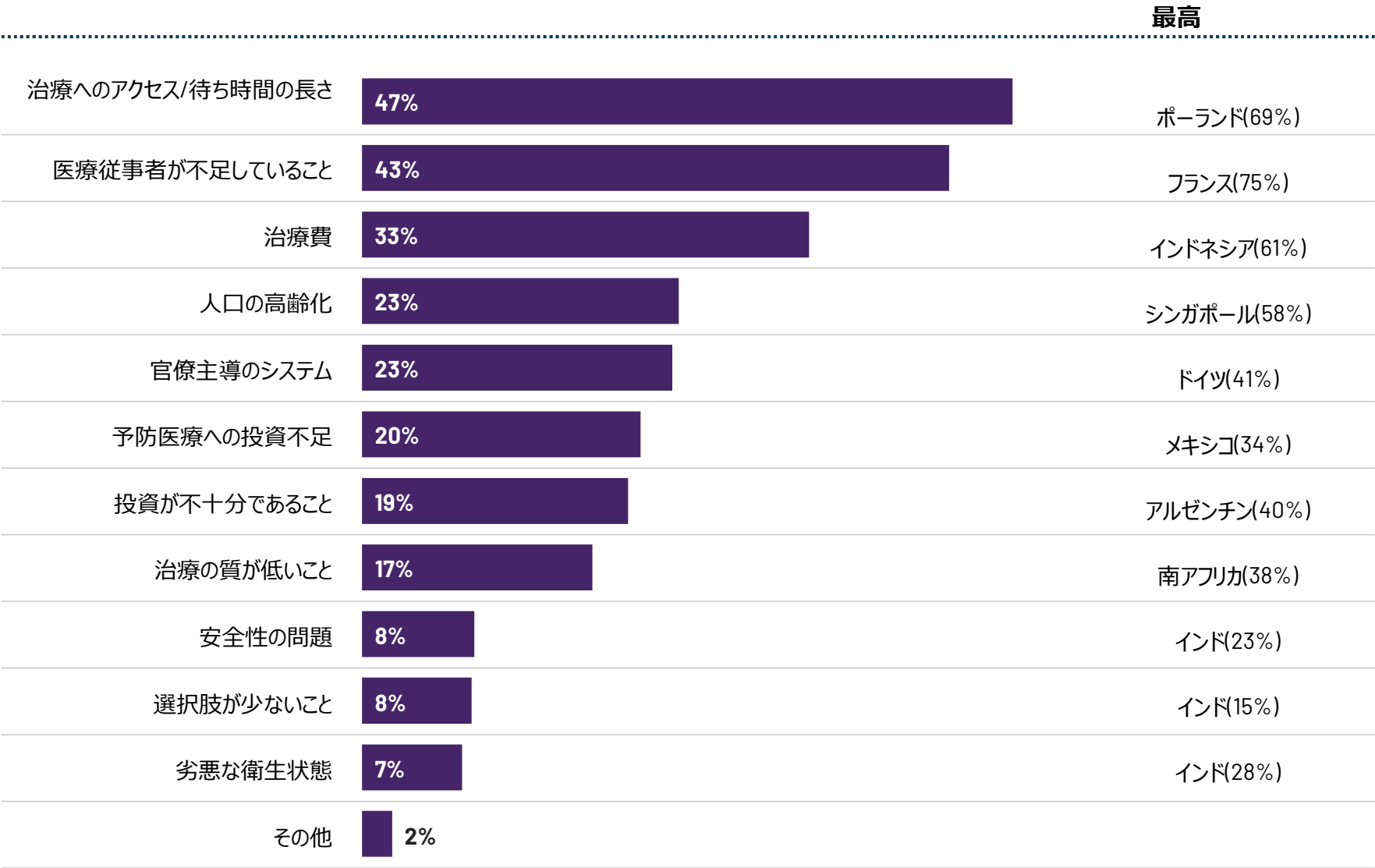
対象: 30か国の75歳未満のオンライン成人23,172人。
2025年7月25日から8月8日に調査を実施。
出典: イプソス医療サービスレポート2025



全体的に見て、自国の医療制度が直面する最大の問題は何だと思いますか？

世界各国平均

対象: 30か国の75歳未満のオンライン成人23,172人。
2025年7月25日から8月8日に調査を実施。
出典: イプソス医療サービスレポート2025



世界が懸念していることは？

ランキング上位の懸念事項

世界の懸念事項: 全リスト

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

30か国全体で、犯罪や暴力について言及する割合は32%のままで、インフレに対する懸念は30%のままです。

上位5つの懸念事項のうち、唯一変化があったのは汚職、経済的・政治的スキャンダルであり、言及数が増加して28%となっています。アジア太平洋地域では懸念が高まっているようで、インドネシア、マレーシア、タイでは心配のレベルが高まっています。

インドネシアでも、最近の政治的混乱を受けて、税金に対する懸念が大幅に増加しています。同様に、米国と英国でも、それほど顕著ではな

いものの、税金に対する懸念が高まっています。

28%

(30か国)が、汚職、経済的・政治的スキャンダルは自国が直面する最大の問題の一つであると回答しています。

世界の懸念事項： 全リスト

対象：2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

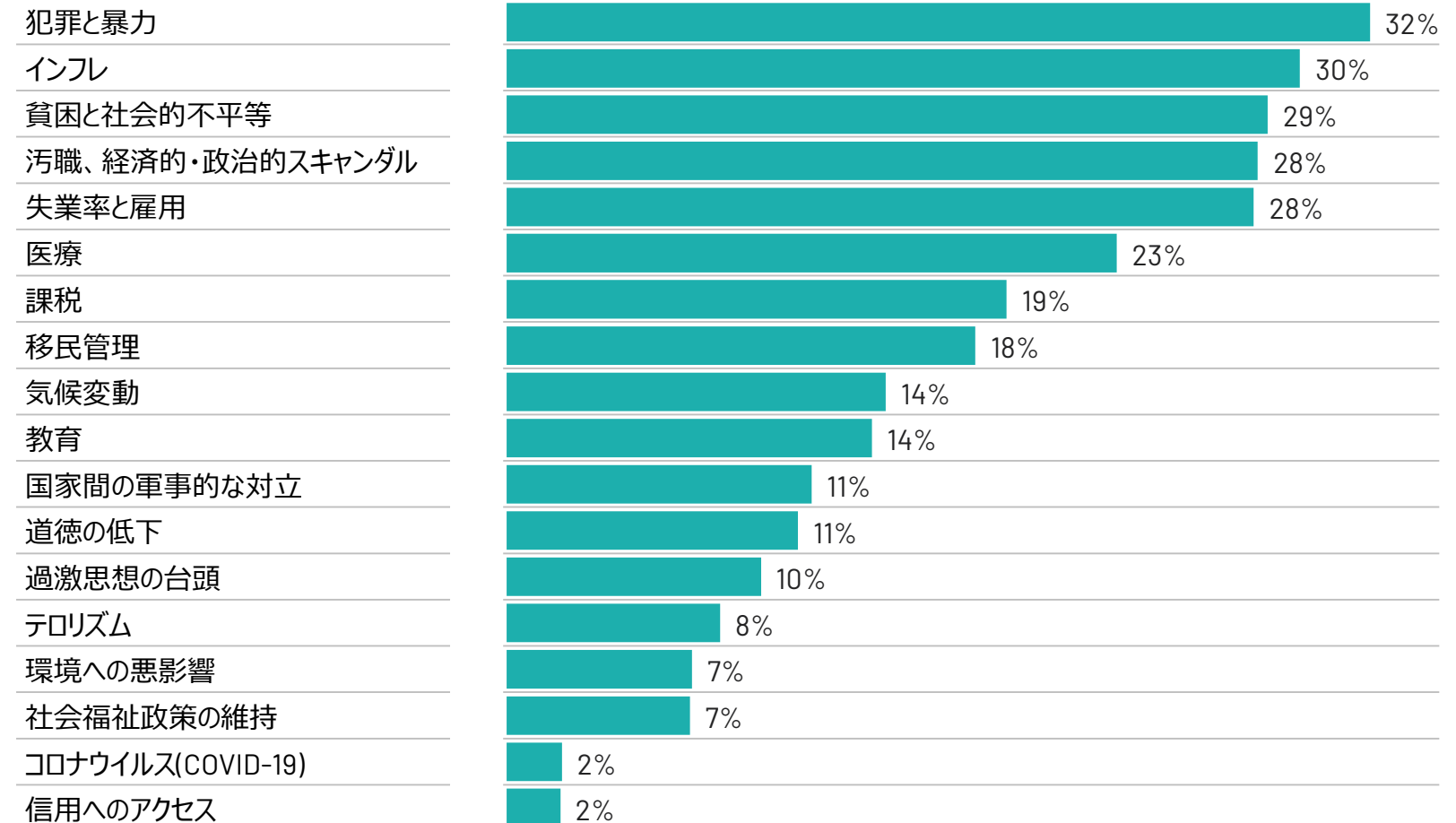
出典：イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター：国：世界 | 現在のウェーブ：2025年9月

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。

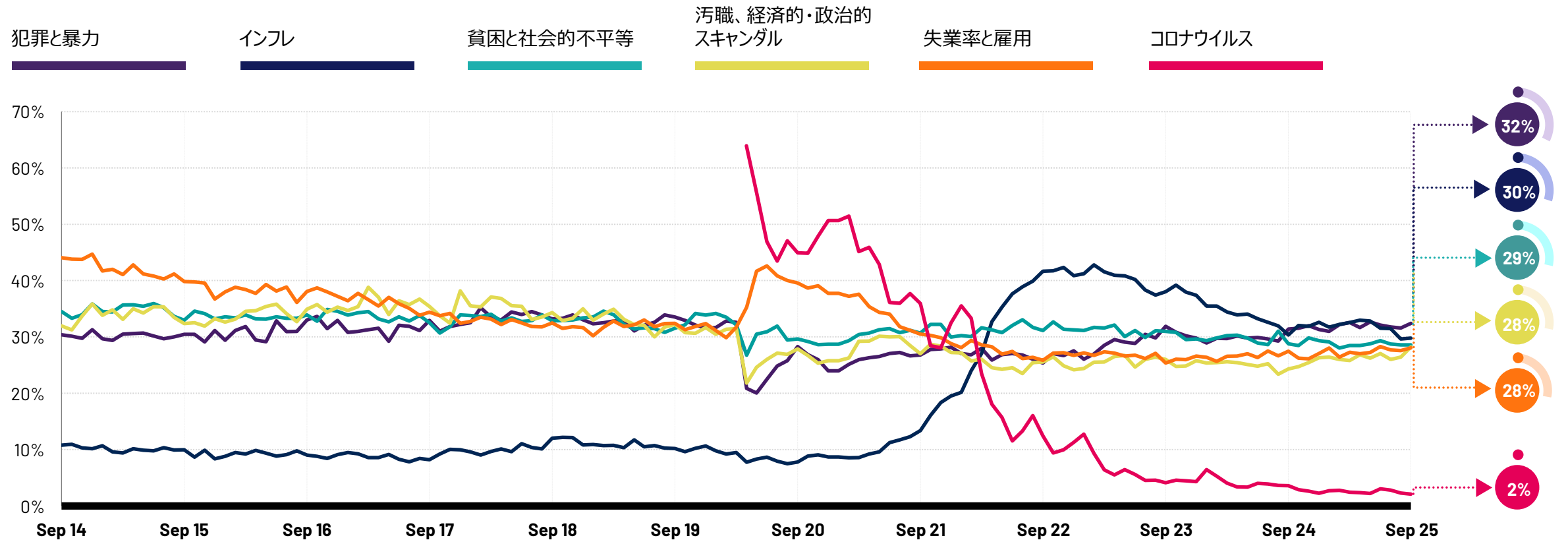
懸念事項

2025年9月の回答割合 (世界各国平均)



世界の懸念：長期的トレンド

Q: 次の中から、あなたの国において最も懸念される事項を3つ選択してください。世界各国平均



対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

1. 犯罪と暴力

30か国全体で、犯罪と暴力に対する懸念を表明する人の割合は3分の1(32%)にとどまっており、7か国がこれを最大の懸念事項としています。

1か国を除くすべてのラテンアメリカ諸国では、犯罪への懸念が最も高く、特にコロンビアでは犯罪への懸念が過去最高に達しました。不安を感じていると答えたコロンビア人の割合は、前月より7ポイント上昇して49%となっています。これは昨年9月より12ポイント高く、2021年3月に調査対象に加えられて以来、最高値となっています。

オランダ(33%)も9ポイント上昇して4年ぶりの高水準に達し、これは2021

年8月(37%)以来の最高値です。

犯罪と暴力が最大の懸念事項となっている国:

- ペルー(69%)
- ブラジル(43%)
- チリ(66%)
- フランス(36%)
- スウェーデン(57%)
- メキシコ(53%)
- コロンビア(49%)

32%

が、**犯罪と暴力**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2025年8月22日~2025年9月5日、参加30か国の16~74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

1. 犯罪と暴力

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国	犯罪と暴力を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	32%	=	+1
ペルー	69%	+3	+17
チリ	66%	+2	+1
南アフリカ	58%	+6	+4
スウェーデン	57%	-7	-8
メキシコ	53%	-6	-1
コロンビア	49%	+7	+12
ブラジル	43%	+1	+3
アルゼンチン	41%	+1	+1
フランス	36%	-2	+1
イスラエル	34%	+4	+5
オランダ	33%	+9	+12
ベルギー	33%	+5	+6
オーストラリア	32%	-4	-1
トルコ	32%	+2	+12
アイルランド	32%	=	-1
マレーシア	30%	+1	-10
イタリア	30%	=	+5
ドイツ	29%	+1	-8
米国	27%	+4	-1
インド	27%	+6	+6
日本	22%	+4	+10
英国	22%	-3	-12
カナダ	20%	=	+1
スペイン	20%	-1	+1
韓国	20%	-1	-1
タイ	18%	-1	-8
インドネシア	12%	-4	-5
ポーランド	11%	-4	=
シンガポール	9%	+1	-10
ハンガリー	7%	-1	=

2. インフレ

30か国全体でインフレに言及した人の割合は、10人中3人(30%)のままです。

オーストラリアにおける物価上昇に対する懸念レベルはここ数か月着実に低下しており、今年9月のスコアは2022年6月以来の最低となっています。懸念を表明したのは前月より3ポイント低下し、5分の2弱(39%)で、昨年より9ポイント低下しています。

米国では懸念が4ポイントわずかに上昇し、5分の2強(42%)が心配していると回答しました。しかし、これは1年前よりも6ポイント低い数字です。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30%

が、**インフレ**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

インフレが最大の懸念事項となっている国:

- シンガポール(59%)
- 米国(42%)
- カナダ(46%)
- オーストラリア(39%)
- インド(46%)
- トルコ(46%)

2. インフレ

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国

インフレを懸念していると回答した人の割合

世界

30%

シンガポール

59%

カナダ

46%

トルコ

46%

インド

46%

米国

42%

ハンガリー

41%

オーストラリア

39%

アイルランド

34%

メキシコ

34%

英国

33%

アルゼンチン

33%

韓国

31%

日本

30%

フランス

30%

スペイン

29%

ブラジル

29%

ドイツ

27%

イタリア

27%

ポーランド

26%

マレーシア

26%

ベルギー

25%

チリ

22%

南アフリカ

21%

コロンビア

19%

タイ

19%

スウェーデン

18%

インドネシア

16%

オランダ

16%

イスラエル

15%

ペルー

12%

前月からの
変化

12か月間
の変化

=

=

+3

+12

=

+3

-5

-6

+7

+16

+4

-6

-3

+11

-3

-9

-1

+3

=

+6

+1

+3

-2

-15

+3

=

+2

+1

-1

-3

+5

+1

=

+7

-2

+4

+2

+1

-3

-8

-2

-6

+1

+1

+2

-3

+4

+2

=

-7

-1

-6

-2

+1

-2

-2

-5

-1

=

-6

=

-11

3. 貧困と社会的 不平等

30か国全体で貧困と社会的
不平等に言及する割合は29%のままで、
先月はもちろん、12か月前と比べて
も変化はありません。

オランダ人は、不安を表明する人の
割合が先月より8ポイント減って
23%となり、不平等に対する懸念が
急激に減少していることが示されて
います。これは昨年9月より13ポイン
ト低だけでなく、2021年12月の
20%以来の最低水準でもあります。

一方、マレーシアでは7ポイント上昇
して3分の1(32%)となり、2024年4
月(32%)以来の最高値となっていま
す。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か
国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルス
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

29%

が、**貧困と社会的不平等**は
自国が直面している重要な
問題の一つだと答えています。

**貧困と社会的不平等が最大の
懸念事項となっている国:**

なし

3. 貧困と社会的 不平等

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国

貧困と社会的不平等を懸念していると回答した人の割合

前月からの
変化 12か月間
の変化

世界	29%	=	=
インドネシア	50%	+3	+6
ハンガリー	46%	+5	+7
アルゼンチン	43%	=	+2
ブラジル	34%	-1	-4
タイ	33%	+4	-14
トルコ	32%	-1	-7
マレーシア	32%	+7	+7
コロンビア	32%	-2	+1
日本	31%	+1	-3
ペルー	31%	-7	-1
南アフリカ	30%	-3	-3
アイルランド	29%	+2	+5
ドイツ	29%	=	+3
メキシコ	28%	-2	-4
イタリア	27%	-1	=
フランス	27%	+1	-1
ベルギー	27%	-1	+4
チリ	26%	=	+1
カナダ	26%	=	=
オーストラリア	26%	+2	-3
英国	26%	+1	-1
スペイン	23%	-1	=
スウェーデン	23%	+2	+6
オランダ	23%	-8	-13
韓国	23%	-1	-1
ポーランド	23%	+7	=
イスラエル	21%	-4	+4
インド	20%	+1	=
シンガポール	18%	-2	+5
米国	15%	-2	-4

4. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で、汚職、経済的・政治的スキャンダルに言及する割合は先月からわずかに増加して28%となっています。これは昨年9月のスコアより4ポイント高いスコアです。

ミレイ大統領の妹を巻き込んだ最近のスキャンダルを受けて、アルゼンチンの汚職に対する懸念は11ポイント上昇して36%となり、2022年9月の36%以来の最高値となっています。

アジア太平洋地域全体で不安レベルが上昇しています。マレーシアでは懸念が8ポイント上昇して59%となり、2020年3月(60%)以来の高水準となっています。タイでは、不安があると答えた人が7ポイント上昇し、半数強(51%)となり、1年前より7ポイント上昇しました。さらに、インドネシアの不安レベルは4ポイント上昇して

72%となり、2022年8月に同国を追加して以来、最高値となっています。

汚職、経済的・政治的スキャンダルが最大の懸念事項となっている国:

- ・ インドネシア(72%) ・ スペイン(36%)
- ・ マレーシア(59%)
- ・ タイ(51%)

28%

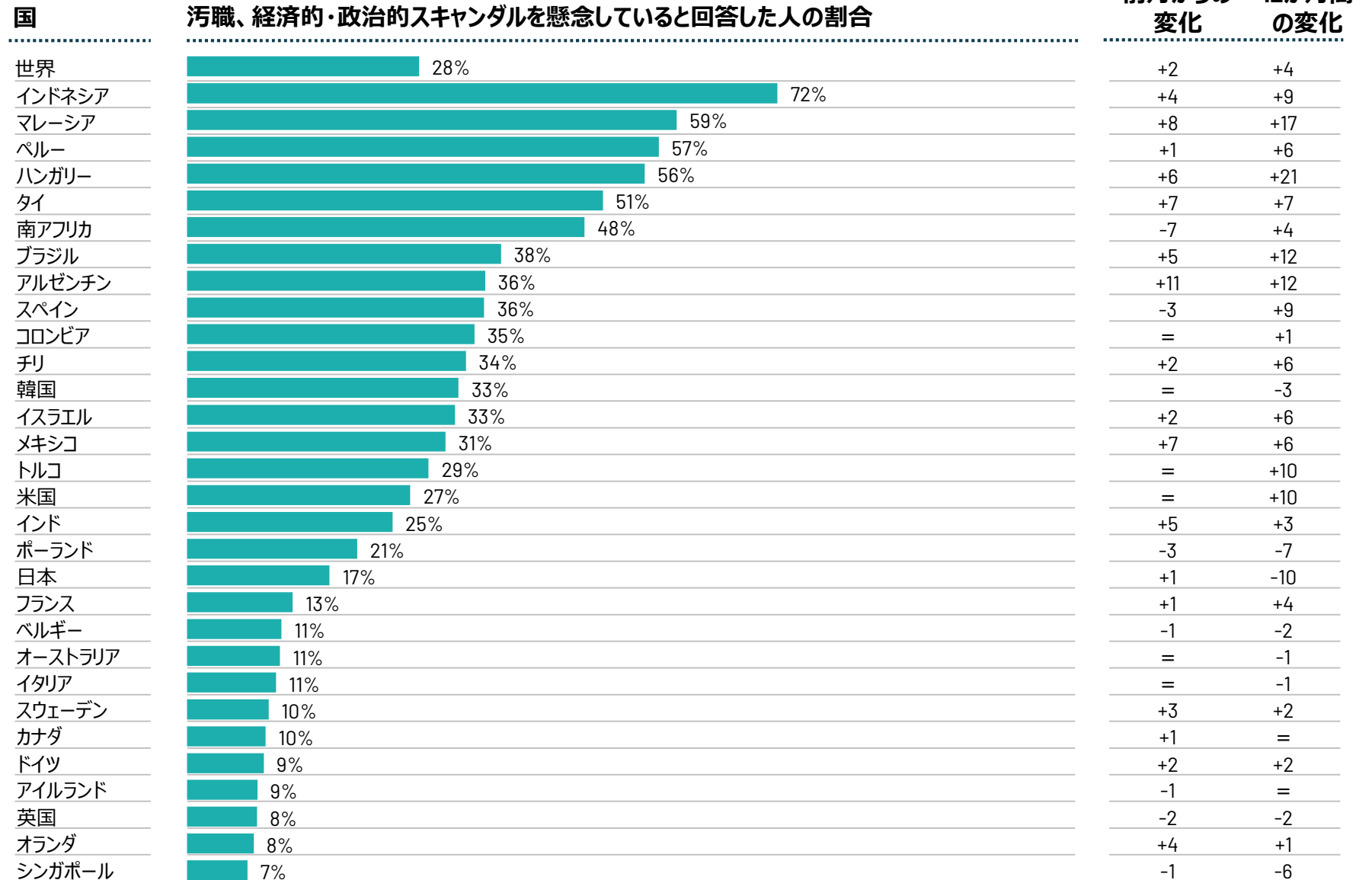
が、**汚職、経済的・政治的スキャンダル**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

4. 汚職、経済的・政治的スキャンダル

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月



5. 失業率と雇用

30か国全体で失業率と雇用に言及した割合は28%で前月から変わりません。

シンガポールの不安レベルは先月から4ポイント上昇し、過去最高の56%に達しました。これは同国が初めて調査対象となった2022年11月以来の最高値です。

対照的に、コロンビアでは不安は6ポイント下がって34%に減少しました。これは、2021年3月に追加されて以来、コロンビアで記録した最低スコアです。

不安を表明したスウェーデン人の割合は7ポイント上昇して31%となり、

2020年8月以来の最高となっています。

失業率と雇用が最大の懸念事項となっている国:

- 南アフリカ(65%)
- 韓国(47%)
- アルゼンチン(46%)

28%

が、**失業率と雇用**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2025年8月22日~2025年9月5日、参加30か国の16~74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

5. 失業率と雇用

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国

失業率と雇用を懸念していると回答した人の割合

国	失業率と雇用を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	28%	=	+1
南アフリカ	65%	=	-1
シンガポール	56%	+4	+26
インドネシア	54%	-1	+5
韓国	47%	+4	+6
アルゼンチン	46%	-4	-5
チリ	42%	+4	+6
インド	40%	+9	+10
メキシコ	35%	+1	=
コロンビア	34%	-6	-15
マレーシア	33%	+4	+4
ペルー	33%	-4	-4
イタリア	33%	-1	=
スウェーデン	31%	+7	+12
スペイン	28%	-2	-8
トルコ	26%	+3	+2
カナダ	25%	-3	=
ベルギー	21%	+1	+2
アイルランド	20%	-1	-1
オーストラリア	20%	-2	-1
タイ	19%	=	-12
ブラジル	19%	+1	-5
ポーランド	17%	+1	-1
米国	16%	=	=
英国	15%	=	+3
日本	14%	-2	=
ドイツ	13%	+3	+2
ハンガリー	12%	-2	-8
イスラエル	12%	=	+3
フランス	11%	-1	-1
オランダ	5%	+2	=

6. 医療

30か国全体で、医療が自国が直面している問題であると答えた人の割合はわずかに減少して23%となっています。

先月、医療を心配していると答えた英国人の割合は過去最低の33%に達しました。これは2022年9月(同じく33%)以来の数字です。今月、懸念はわずかに34%に上昇し、新たな最低記録の更新はありませんでした。

ポーランドの懸念レベルはわずかに上昇し、5分の2強(41%)となり、昨年の同時期より12ポイント上昇しました。

対象: 2025年8月22日~2025年9月5日、参加30か国の16~74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

23%

が、**医療**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

医療が最大の懸念事項となっている国:

- ハンガリー(63%)
- ポーランド(41%)
- アイルランド(38%)
- イタリア(34%)

6. 医療

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国	医療を懸念していると回答した人の割合	前月からの変化	12か月間の変化
世界	23%	-1	=
ハンガリー	63%	=	-5
ポーランド	41%	+1	+12
アイルランド	38%	=	-12
カナダ	38%	-3	-6
英国	34%	+1	-1
イタリア	34%	-1	-1
ブラジル	33%	-1	-3
オーストラリア	31%	-3	+2
シンガポール	30%	+1	+6
オランダ	28%	-5	+1
スペイン	27%	-2	-5
コロンビア	27%	-2	+7
フランス	26%	-1	+4
米国	25%	=	-1
スウェーデン	23%	-2	-2
ベルギー	21%	-2	-2
ドイツ	20%	=	+3
メキシコ	20%	=	+4
アルゼンチン	16%	-3	+4
チリ	16%	-2	+3
ペルー	15%	+1	-2
南アフリカ	14%	-3	-1
インド	13%	+1	=
マレーシア	10%	-2	+1
日本	10%	-1	=
イスラエル	9%	=	+6
タイ	8%	+1	+1
韓国	7%	-1	-20
トルコ	5%	=	+4
インドネシア	4%	-3	-3

7. 課税

30か国全体で、税金について懸念を表明する人の割合は依然として5分の1(19%)で、昨年同時期よりわずかに増加しています。

今月フランスでは税金への懸念が特に高まっており、その割合はわずかに上昇して28%となりました。これは同国にとって2019年7月(同じく28%)以来の最高値です。フランスは、自国の経済が「良い」と答えた人の数でも最下位となっています。

最近の混乱を受けて、インドネシアのスコアも1か月で12ポイント上昇し、過去最高の35%に達しました。これは、2022年8月に追加されて以来の最高値です。

さらに、米国では、心配していると答えた人が5ポイント増加して5分の1(21%)となり、これは8年間で最高となっています。

課税が最大の懸念事項となっている国:

- ベルギー(34%)

19%

が、**課税**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

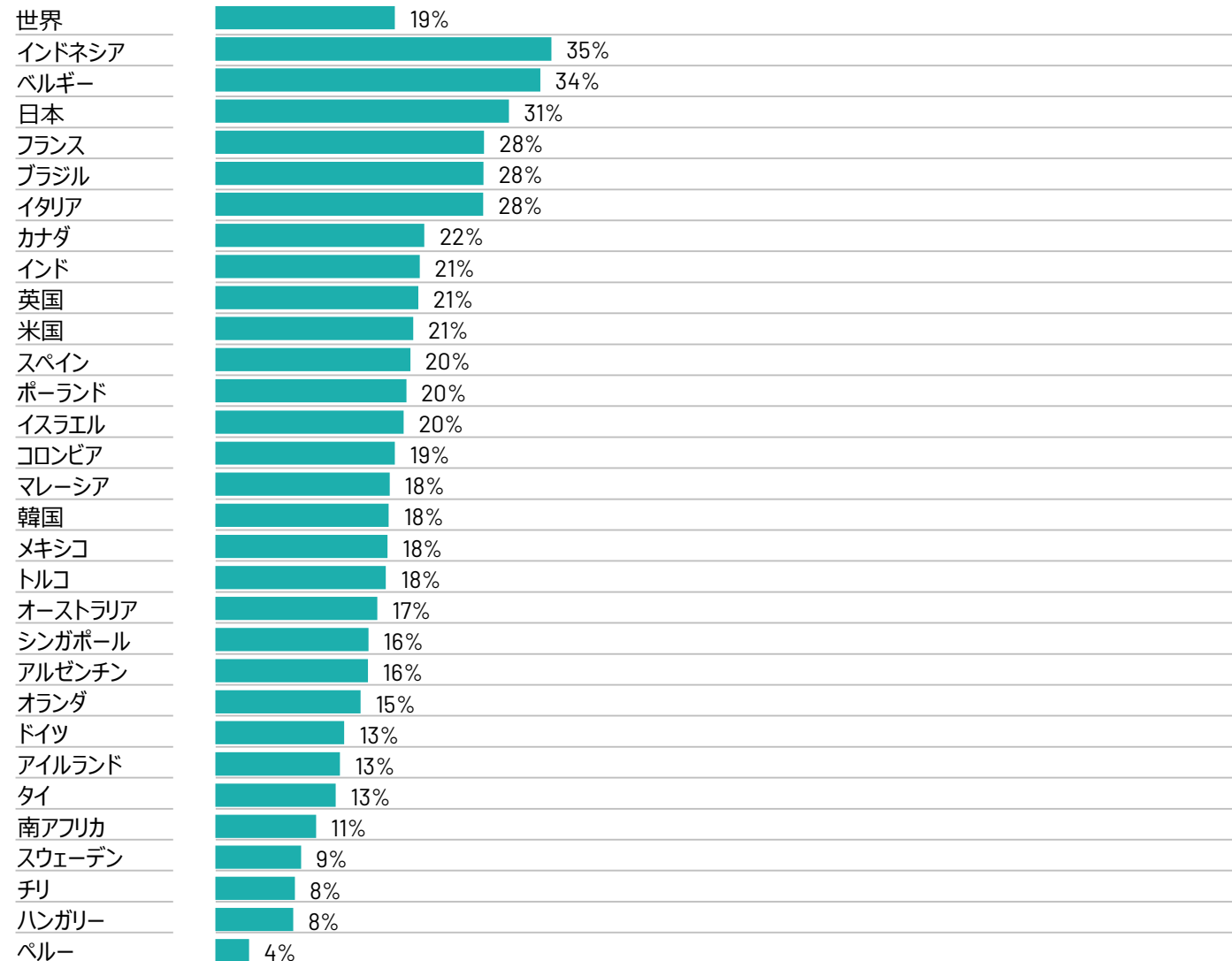
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

7. 課税

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国

課税を懸念していると回答した人の割合



前月からの 変化	12か月間 の変化
=	+2
+12	+24
+2	-2
-2	+2
+2	+12
-3	+7
=	-1
-5	-4
+4	+3
+4	+8
+5	+4
+1	+3
+4	=
=	-3
+3	+2
-6	+3
-1	+5
=	+6
-2	-2
-4	+3
-2	-8
-1	-5
+2	=
-2	+5
-4	-5
-3	+4
-1	+2
=	+1
-1	=
+3	-1
=	-5

8. 移民管理

今月も30か国全体で移民管理に言及する割合は18%のままです。

日本では、移民管理に関する懸念度が今月4ポイント上昇し、4分の1(24%)に達しました。これは昨年より10ポイント高いだけでなく、過去10年間で最高の数字です。

同様に、今月不安を表明したカナダ人の数は4ポイント増加して28%となり、これは昨年より4ポイント高い数字です。

フランスでも3ポイントのわずかな増加で27%となり、12か月前より6ポイント上昇しました。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

18%

が、**移民管理**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

移民管理が最大の懸念事項となっている国:

- 英国(40%)
- オランダ(36%)
- ドイツ(35%)

8. 移民管理

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国

移民管理を懸念していると回答した人の割合

国	移民管理を懸念していると回答した人の割合	前月からの 変化	12か月間 の変化
世界	18%	=	=
英国	40%	+1	+1
チリ	38%	-1	-1
アイルランド	36%	-4	-7
オランダ	36%	=	+1
ドイツ	35%	-4	+2
カナダ	28%	+4	+4
フランス	27%	+3	+6
スペイン	26%	-1	-4
ベルギー	25%	-1	+1
日本	24%	+4	+10
ポーランド	23%	-6	+2
米国	22%	=	-5
オーストラリア	21%	+2	+3
トルコ	19%	-1	-22
イタリア	19%	-1	+2
スウェーデン	18%	+1	-1
シンガポール	17%	+2	+4
南アフリカ	16%	+1	+2
マレーシア	11%	-2	-1
ペルー	9%	-1	=
タイ	8%	=	+1
メキシコ	6%	+1	=
コロンビア	5%	-2	-4
ハンガリー	4%	=	-6
インド	4%	-5	-4
韓国	4%	+2	+3
イスラエル	4%	=	-2
アルゼンチン	3%	=	+1
ブラジル	1%	=	=
インドネシア	1%	=	-1

9. 気候変動

今月、30か国全体で気候変動に言及する割合はわずかに減少し、14%となっています。これは昨年9月より2ポイント低いスコアです。

気候変動を懸念する日本人の割合は今月わずかに増加して3分の1(33%)となり、現在では気候変動が日本人の主な懸念事項となっています。しかし、これは昨年の同時期と同じレベルです。

韓国のスコアは先月の10年ぶりの高記録29%から低下しています。今月は4ポイント下落して25%となっています。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

14%

が、**気候変動**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

気候変動が最大の懸念事項となっている国:

- 日本(33%)

9. 気候変動

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

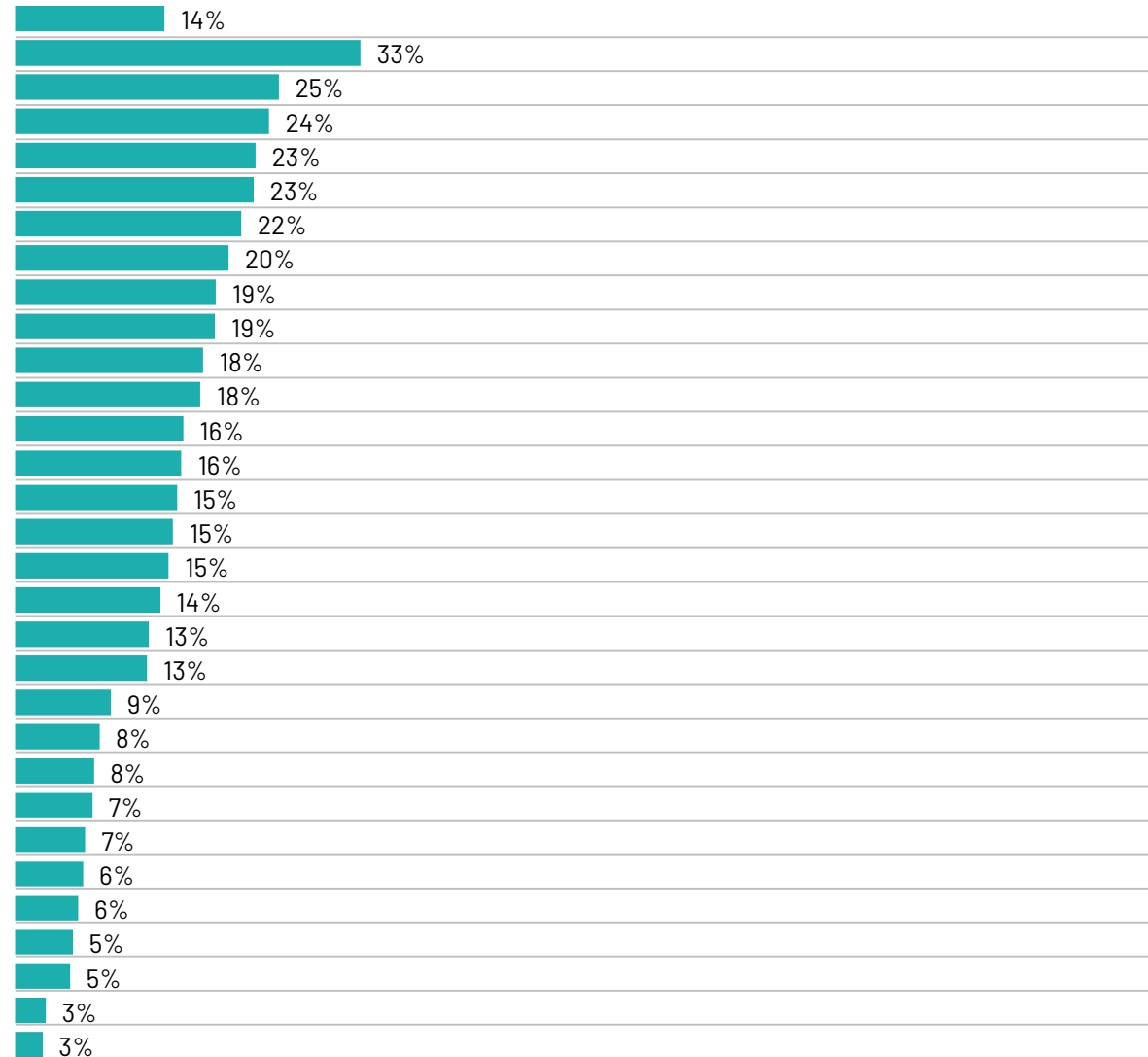
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国

気候変動を懸念していると回答した人の割合

世界
日本
韓国
オランダ
オーストラリア
カナダ
シンガポール
英国
イタリア
ドイツ
フランス
スペイン
ポーランド
スウェーデン
タイ
アイルランド
米国
ベルギー
メキシコ
トルコ
ブラジル
インド
コロンビア
マレーシア
ペルー
インドネシア
ハンガリー
チリ
南アフリカ
アルゼンチン
イスラエル



前月からの
変化

12か月間の
変化

-1	-2
+2	=
-4	+4
-2	-3
+1	+1
+4	=
-4	+2
=	+1
-1	-2
-2	-2
-1	=
+2	=
+1	-4
-1	-1
+1	-5
-3	+4
-4	-7
-4	-7
=	-4
=	+5
-2	-6
-2	-5
+1	-1
-4	-3
+3	+1
-3	-11
-3	-1
=	-3
+1	-4
-1	-1
=	+1

10. 教育

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

30か国全体で、教育を問題として挙げる人の割合はわずかに増加して14%となっています。

イスラエルでは、教育への懸念を表明した回答者の割合が前月から3ポイント上昇し、25%となりました。これは昨年の同時期より6ポイント上昇しており、2023年9月にも25%を記録しており、過去2年間で最高値となりました。

インドでも同様の懸念レベルに達しており、28%が心配していると回答しています。これは先月および2024年9月より5ポイント高いスコアです。

教育に関するさらなるインサイトにつ

いては、[イプソス教育モニター2025](#)をご覧ください。

教育が最大の懸念事項となっている国:
なし

14%

が、**教育**は自国が直面している重要な問題の一つだと答えています。

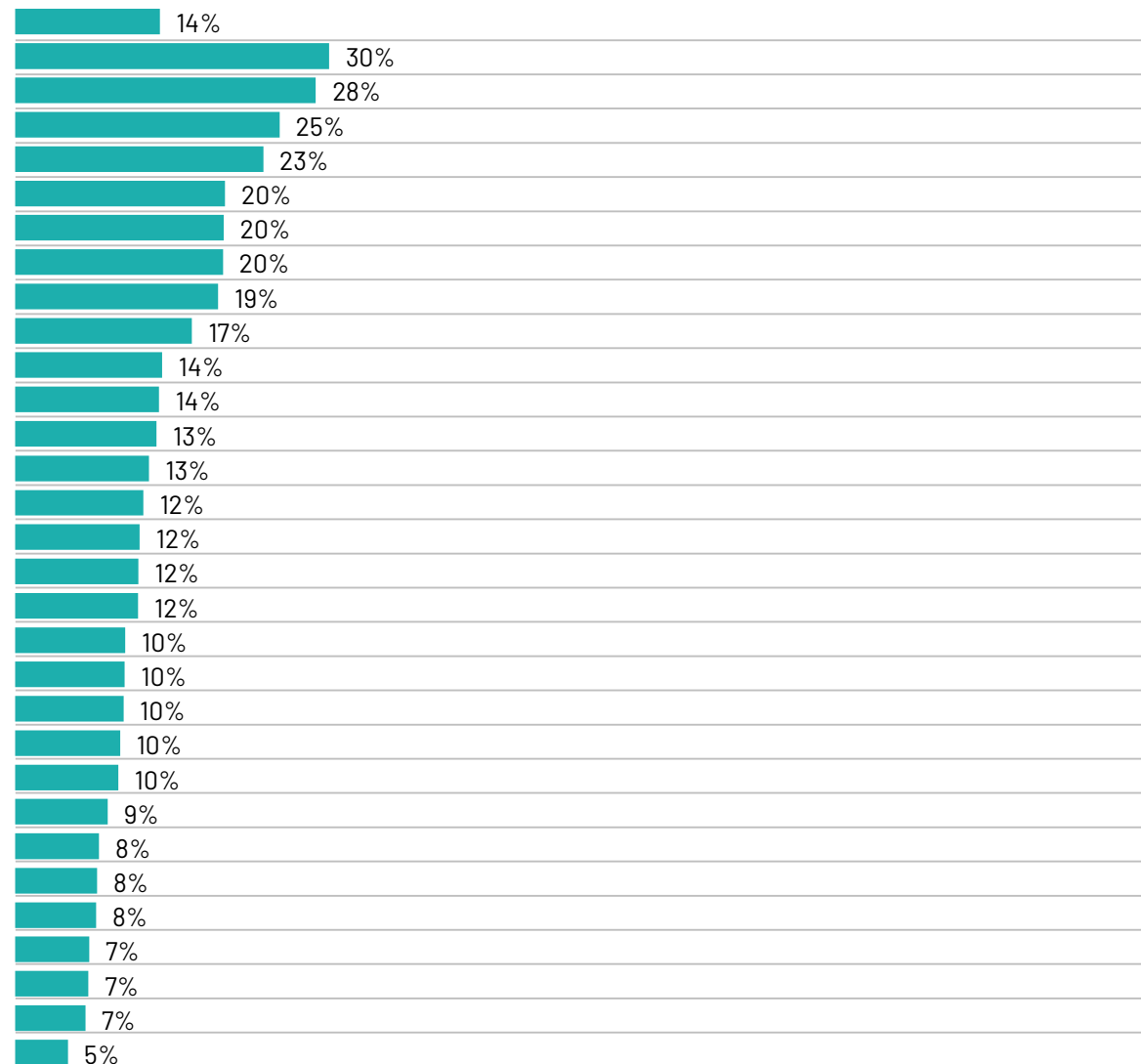
10. 教育

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国

教育を懸念していると回答した人の割合

世界
アルゼンチン
インド
イスラエル
トルコ
ブラジル
ペルー
ハンガリー
メキシコ
ベルギー
マレーシア
オランダ
インドネシア
コロンビア
米国
スペイン
チリ
フランス
南アフリカ
イタリア
ドイツ
カナダ
オーストラリア
シンガポール
ポーランド
タイ
アイルランド
韓国
英国
スウェーデン
日本



前月からの 変化	12か月間 の変化
+1	=
=	+2
+5	+5
+3	+6
+3	+5
+1	-4
-1	-1
-1	-7
-1	-2
+4	+1
+1	+2
+2	+1
=	-3
-2	-6
+2	+5
-2	=
-4	-3
=	-4
-3	-5
+2	-1
+1	-4
-2	-3
=	=
+2	+3
-1	-1
=	+1
+3	+1
+1	+1
=	+1
-2	+1
-2	-1

経済フォーカス

自国の経済状況

イプソスの**世界が懸念していること調査**と並び、毎月実施されている**世界消費者信頼感調査**は、30か国の一般消費者を対象に、国と個人のレベルにおける経済と金融について調査を実施しています。

以下のセクションでは、このデータの一部を用いて、今月の「世界が懸念していること調査」レポートの背景を説明しています。これは、国民が自国の現在の経済情勢をどのように評価しているかを示すものです。

詳細については、
Emilios.Louca@ipsos.com
までお問い合わせください。

現在の経済状況

調査対象となった30か国の中で、インドネシアは自国の経済を「良い」と評価する人の割合が過去12か月間で最も大きく減少しました。インドネシアの好景気スコアは2024年9月から25ポイント低下し、53%から28%に低下し、過去最低を記録しました。

その他の国では、フランス(-20pp)、ドイツ(-14pp)、メキシコ(-12pp)、オランダ(-10pp)も、昨年の同時期と比べて2桁の低下を記録しています。

一方、韓国の好景気スコアは2024年9月から14ポイント上昇し、2018年5月(33%)以来の最高スコアとなっています。アルゼンチンでも、昨年の同時期より10ポイント増の2桁増加が

見込まれています。

経済を最も懸念している上位国:

- フランス(90%が「悪い」状態だと回答)
- 日本(87%)
- ハンガリー(85%)
- ペルー(77%)
- トルコ(75%)

25pp

インドネシアの好景気スコアは昨年同時期より25ポイント低下しました。

対象: 2025年8月22日~2025年9月5日、参加30か国の16~74歳の25,775人の代表サンプル。

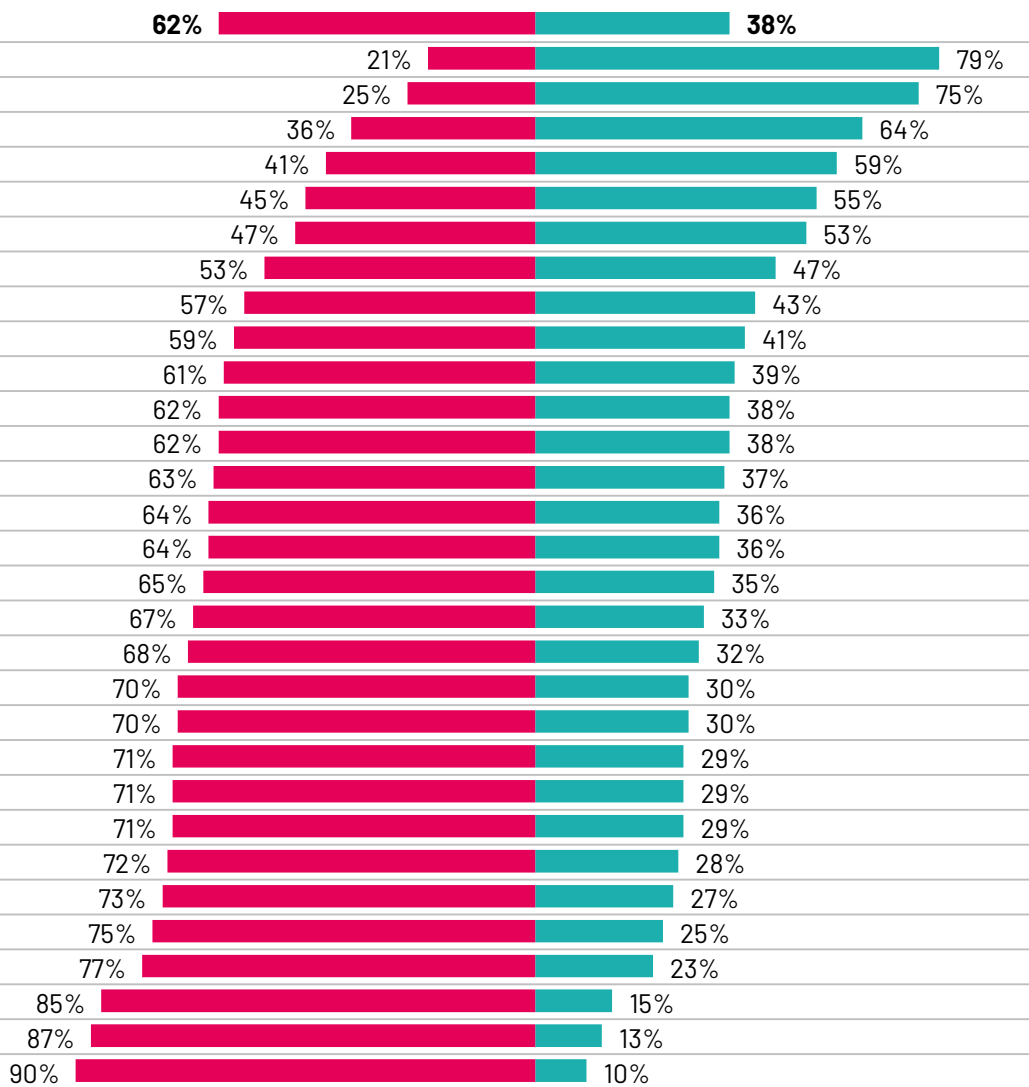
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

現在の経済状況

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

国
世界
シンガポール
インド
マレーシア
オランダ
オーストラリア
アイルランド
ポーランド
米国
スウェーデン
メキシコ
カナダ
ベルギー
ブラジル
イスラエル
スペイン
ドイツ
タイ
イタリア
チリ
コロンビア
韓国
南アフリカ
アルゼンチン
インドネシア
英国
トルコ
ペルー
ハンガリー
日本
フランス

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



良い 悪い

■ ■

前月からの 変化	12か月間の 変化
=	-1
+3	-4
+3	-3
-7	+5
-2	-10
+5	+8
+1	-4
=	+6
+1	+2
-6	=
-1	-12
+2	+1
+3	+1
+4	-1
-2	+1
-4	=
+1	-14
-2	-7
=	+2
-5	-1
-2	+6
+6	+14
+4	-3
=	+10
-13	-25
-7	-7
+3	+7
=	+4
-4	-9
+1	-1
+1	-20

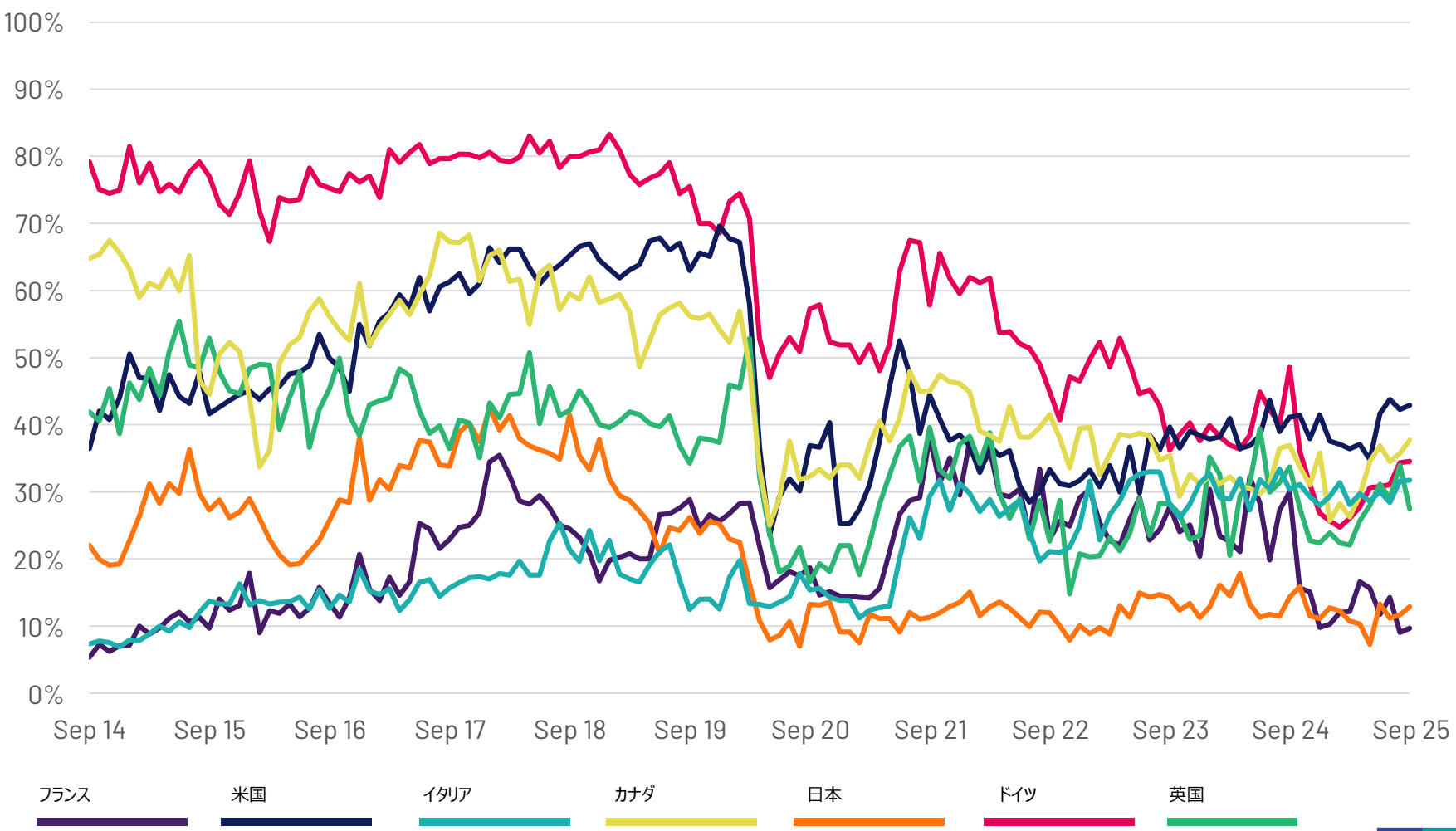


現在の経済状況

G7
%「とても良い」または「やや良い」

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。
出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。
フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

米国

%「とても良い」または「やや良い」

米国は過去12か月のうち6か月間、40%を超える好景気スコアを記録しています。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

カナダ

%「とても良い」または「やや良い」

カナダの好景気スコアは、2023年1月(40%)以来40%に達していません。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

ドイツ

%「とても良い」または「やや良い」

ドイツの好景気スコアは、2025年の連邦議会選挙以来、着実に上昇が続いています。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

イタリア

%「とても良い」または「やや良い」

イタリア経済に対する認識は安定しており、過去12か月間でわずか4ポイントの変化しかありません。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

英国

%「とても良い」または「やや良い」

英国の好景気スコアは先月より7ポイント低下し、昨年同時期(34%)より7ポイント低下しました。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

日本

%「とても良い」または「やや良い」

日本経済に対する認識は、新型コロナウイルス感染症のパンデミックの影響からまだ回復していません。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

フランス

%「とても良い」または「やや良い」

フランスの好景気スコアは前年比で2番目に大きな下落となり、昨年同時期(30%)より20ポイント低下しました。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

オーストラリア

%「とても良い」または「やや良い」

オーストラリアは先月から5ポイント上昇し、今月は2023年1月以来最高の好景気スコアを記録しました(同じく55%)。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

メキシコ

%「とても良い」または「やや良い」

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから着実に回復した後、メキシコの良好な好景気スコアは過去18か月間で低下しました。今月は2022年12月以来の最低スコア(36%)を記録しました。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェーブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

韓国

%「とても良い」または「やや良い」

韓国は前月より6ポイント上昇し、
2018年5月以来最高の好景気スコア
(33%)を記録しました。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か
国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルス
コアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



現在の経済状況

インドネシア

%「とても良い」または「やや良い」

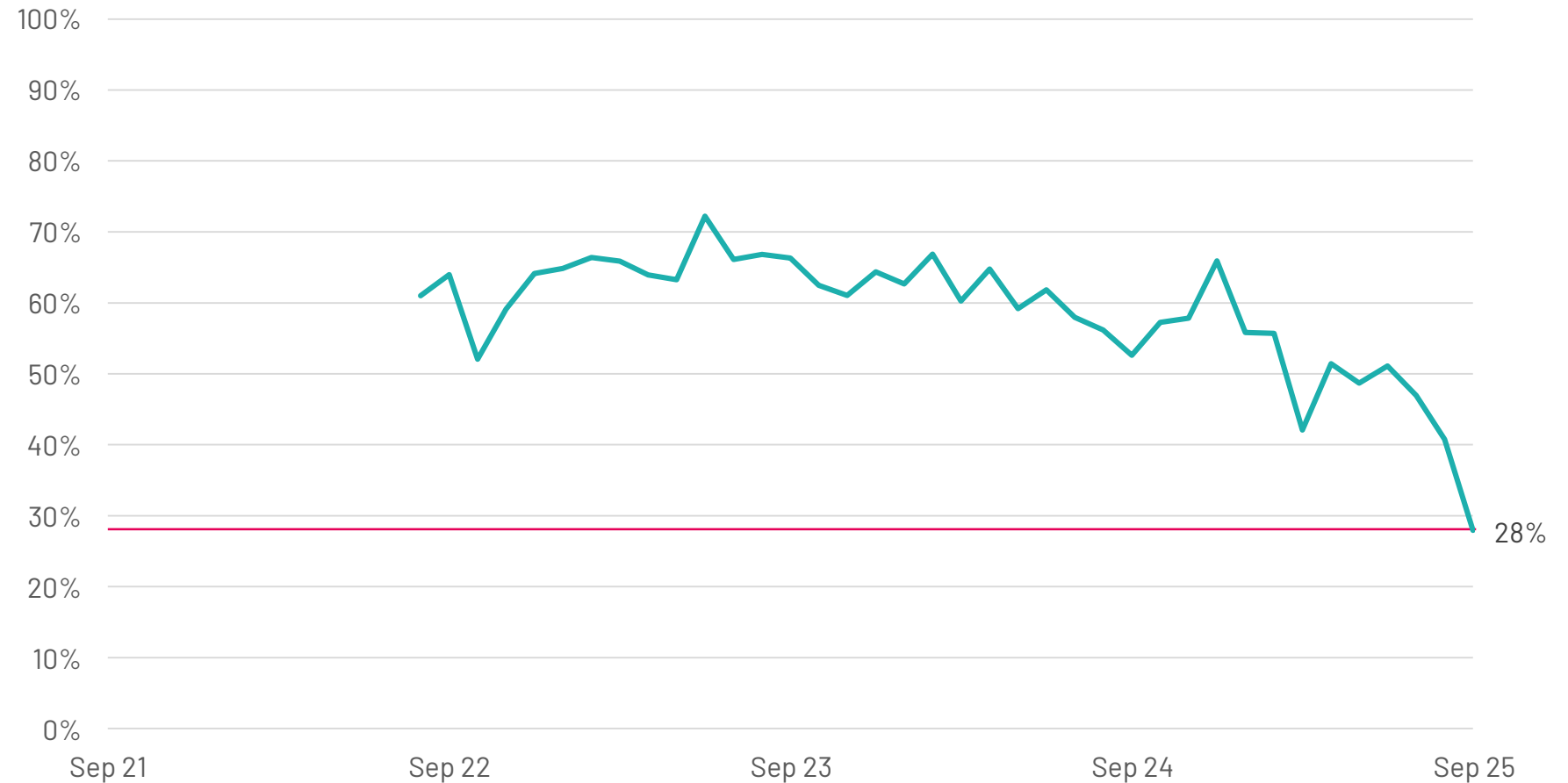
インドネシアの好景気スコアは昨年同時期(53%)より25ポイント低下し、当調査の中で前年比で最大の下落率となっています。

対象: 2025年8月22日～2025年9月5日、参加30か国の16～74歳の25,775人の代表サンプル。

出典: イプソスグローバルアドバイザー調査。グローバルスコアは、世界各国平均。詳しくは調査手法を参照。

フィルター: 国: 世界 | 現在のウェブ: 2025年9月

Q: 自国の現在の経済状況を表現するとしたら、当てはまるものはどれですか。



調査手法

この30か国グローバルアドバイザー調査は、イプソスオンラインパネルシステムを通じて、2025年8月22日から2025年9月5日までの間に、カナダ、イスラエル、マレーシア、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、インドネシアとタイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳までの500人を対象に実施されました。

「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国における平均的な結果を反映しています。各国の人口規模に合わせて調整されておらず、全体的な結果を示すことを意図したものではありません。

サンプルは、オーストラリア、ベルギー、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、アイルランド、日本、スペイン、スウェーデン、米国の各国で約1,000人以上、アルゼンチン、チリ、コロンビア、ハンガリー、インドネシア、イスラエル、マレーシア、メキシコ、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、タイ、トルコの各国で約500人以上で構成されています。

インドのサンプルは約2,200人で構成され、そのうち約1,800人が対面で調査を受け、400人がオンラインで調査を受けました。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、これらの国の75歳未満の一般成人人口の代表として考えることができます。

ブラジル、チリ、コロンビア、インド、インドネシア、マレーシア、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口よりも都市部に住み、教育水準が高く、裕福です。これらの市場の調査結果は、これらの人口の中でもデジタル接続性の高いよりコネクテッドな層の意見を反映しているものと見なされます。

インドのサンプルは、都市部の人口の大部分、つまり大都市圏の社会経済階級A、B、Cと、全4ゾーンのTier 1-3の都市の階級を代表しています。

人口統計のバランスを取り、サンプルの構成が最新の国勢調査データによる成人人口の構成を反映するようにするために、重み付けが採用されています。

イプソスのオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、1,000件の世論調査では ± 3.5 パーセントポイントの精度、500件の世論調査では ± 5.0 パーセントポイントの精度となります。イプソスによる信頼区間の使用に関する詳細については、イプソスのウェブサイトをご覧ください。

結果の合計が100にならない場合、または「差」が実際より ± 1 多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数回答、または「わからない」または未回答の回答の除外が原因である可能性があります。

これらの調査結果の公表は現地の規則および規制に従って行われます。



THANK YOU

CONTACT:

Joseph.Nadler@ipsos.com

VISIT:

ipsos.com